



シルバートナミ

ふれあひ

第28号

平成24年4月10日発行

(題字) 雨池 弘之

撮影 加藤 福蔵 (出町地区)

3/29 (木)

平成二十三年度第二回通常総会を開催



あいさつを述べる雨池理事長

事業計画

- (1) 普及啓発事業の推進
- (2) 就業機会の確保及び拡大
- (3) 安全・適正就業(労働者派遣事業)の推進
- (4) 講習・研修会の開催
- (5) 会員の加入促進及び就業相談会の開催
- (6) 財政中長期計画の策定及び組織の充実強化
- (7) 互助会への協力を掲げています

収支予算

二十四年度収支予算では、当期収入合計額三億三千六百二十六万五千円で昨年度よりもおよそ三十九万円の増加(増益ベース)となることを見込んでいます。

- ◆三月末現在の会員数 五百九十七名
- ◆男三百四十九名
- ◆女二百四十八名

総会には四百七十七名(内委任状二百六十二名)が出席し、開会の挨拶で雨池弘之理事長は「急速に進む少子高齢化社会においてシルバー人材センター事業の果たすべき役割は何か、今一度原点に立ち返り、再考する時期にきていると考えております。四月一日からは国の認定を受け公益社団法人としてスタートいたします。高齢者福祉事業など公益目的事業に積極的に取り組み、地域に愛され親しまれ、信頼されるセンターを目指してまいります。」と挨拶されました。

この後、上田砺波市長、稲垣砺波市議会議長、中田富山県シルバー人材センター連合会長が祝辞を述べられました。

引き続き南八郎さん(柳瀬地区)を議長に選任し議事に入り、平成二十三年度収支補正予算、平成二十四年度事業計画案、収支予算案等の四議案・報告をいずれも原案通り承認しました。



大勢の皆さんに出席いただきました

砺波市シルバー人材センター 互助会総会も同時開催されました

今年度の主な事業としては

- ① 研修旅行の実施
 - ② シルバー事業への協力
 - ③ 会員のつどいの実施
 - ④ 組織活動への助成
 - ⑤ 慶弔費の支給
- となっており、また本会の収入は
- ① 会費(一人年六百元)
 - ② 各負担金
 - ③ 寄付金
- などとなっており、年間総予算額は四百六万三千元です。

終了後に記念講話

総会終了後には、記念講話が開催され、南砺市 高参寺住職 土原行晴氏に講師としてお越しいただき「歳を重ねるとは！」をテーマにお話をいただきました。

公益社団法人として

四月一日より「公益社団法人 砺波市シルバー人材センター」として新たにスタートしました。今後益々地域に貢献できる活動を目指していききたいと思っております。



平成二十四年度 講習研修会の予定

就業会員の事故防止、知識・技能の向上、後継者の育成及び就業機会の確保を推進するため、各種講習・研修会の開催を予定しています。

技能講習会

- ① 剪定 五月実施予定
- ② 雪吊 十月実施予定

安全取扱研修会

- ① 刈払機 六月・二月実施予定
- ② チェンソー 二月実施予定

知識向上等研修会

- ① 安全運転 一月実施予定
- ② ハウスクリーニング 二月実施予定

就業相談会開催のお知らせ

会員の方を対象とした就業相談会を開催します。

就業機会が少ないと感じている方、就業して何か疑問を感じている方、こんな仕事が見たい、希望する仕事の変更など、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。ご参加をお待ちしております。

開催予定日(変更の場合あり)

- ① 六月
 - ② 八月
 - ③ 十月
 - ④ 十二月
 - ⑤ 二月(平成二十五年)
- 時間 午後二時～午後四時迄

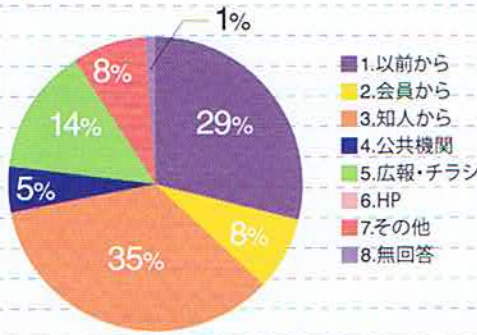
いずれも、日時など詳細が決まりましたら案内いたします。是非、参加して下さい。

「満足度アンケート」実施

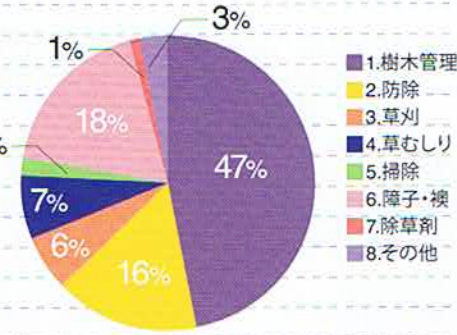


砺波市シルバー人材センターでは昨年度、事業の円滑な運営・拡大を図るために、県シ連就業開拓推進員のご協力のもと「お客様満足度アンケート」を一般家庭のお客様を中心に、三百六十件を対象に実施しました。全体の97%のお客様が「またセンターを利用したい」との回答をいただきました。

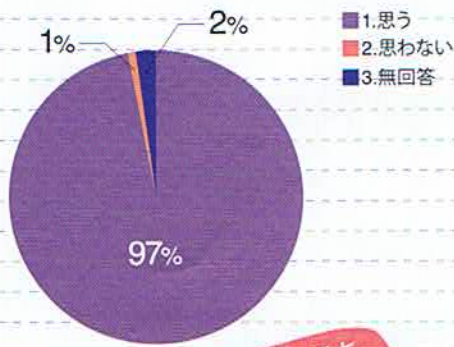
2 センターをご利用されたきっかけは？



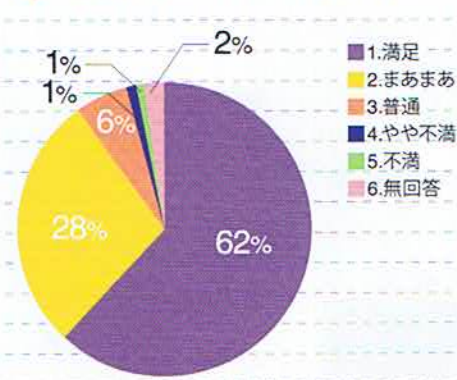
1 ご利用された仕事の内容は？



4 今後もまたセンターを利用して
みようと思えますか？



3 仕事の出来栄えはどうでした？



その他意見をお聞かせください!

- 自分で出来ないことをやってもらえて助かる。
- 会員の方が高齢化しているのが心配です。
- 毎年、同じ場所を仕事してもらうのに値段が異なるのはなぜですか。
- 作業が丁寧で大変満足している。ぜひこれからもお願いしたい。
- 一人暮らしの為、いろいろとお世話になってます。

市内全地区で
交流会を開催

年に一度、皆さんから直接意見や要望を聞く、互助会主催の地区別会員交流会が二月二十三日から約二週間にわたり二十一地区で開催されました。雪で足場の悪い日が多く大変でしたが、参加された会員の皆さんからは、さまざまな意見・提案が飛び出し、熱心な交流会となりました。事務局からは、事業実績・事故発生状況(シルバー保険関係)について、また今年度から実施される安全就業注意警告方式について話をしました。



皆さんからの
主な意見・要望

特に互助会については、今後の運営や会費の有効な使い方など、多くの課題があり会員の皆さんと意見交換を

Q「事務局たより」は全会員に配布できないのか
A 経費の面から現在は、配分金収入がある方のみ、明細に同封し郵送しております。対象でない方はセンターの窓口にご置いてあるものか、ホームページを通じて閲覧していただきたいと思えます。

Q 互助会の運営費について
A 過去には、シルバーの事業費から助成していたのですが、公益法人への移行にともない互助会への助成金は公益目的事業にかかる経費としては認められていないと思えます。

Q「安全就業注意警告方式」について
A 会員の方の就業機会を制限する罰則として設置したのではなく、事故・怪我などを未然に防ぐためのものです。講習会には積極的に参加していただき、安全具などの装着も徹底していただきたいと思えます。

Q 現在、互助会の収入は、年会費約三十六万円しかありませんので、より有効な利用を考えると、いかなければなりません。

交通安全体験講習会を開催

交通安全体験講習会が一月二十日(金)、砺波自動車学校にて二十名が参加して行われました。

過去に交通事故による重篤事故も発生しており、日ごろの運転を見直す意味でも毎年実施しています。

当日は、交通安全講義の受講、自動車運転実技を行いました。

講義では指導員の方から「高齢ドライバーの注意点」「県内交通死亡事故の特徴」についてお話があり、特に高齢ドライバーの方は

- 毎日十分以上歩く
- 規則正しい食生活
- 禁煙

を心がけ日々健康に留意し、長時間の運転はできるだけ避け、やむを得ない場合でも二時間ごとの休憩をとるようにとアドバイスを受けました。

講義終了後実技に移り、自らがハンドルを握り、指導員の方が同乗し、同じく指導員の方が運転する一台のバイクと共にコースを走行し、車両感覚・危険予測などについて個別に指導をしていただきました。



「皆さんの車両感覚はどうですか？」

調理講習会開催

二月二十三日(木)、「高齢者のための調理講習会」が砺波市健康センターで開催され、高齢者支援事業などで活躍している会員二十一名が参加しました。

研修会は、市健康センターの二王堂栄養士・堀田保健師にご指導いただき、午前はまず、十食群シートを基に、バランスの良い食事の大切さについて学んだ後、レシピを参考に「カボチャと鶏の治部煮」「青菜とのりの煮びたし」など四品の調理実習を行いました。

午後からは「高齢者の健康について」認知症予防のための脳トレーニング、転倒防止のための目頃から簡単にできるストレッチ体操などを学びました。

受講した皆さんからは、
●身近にある食材を、今までにない使い方調理し勉強になった。
●子どもから高齢者までおいしく食べられるレシピで勉強になった。
と感想が聞かれ、大変有意義なものとなりました。



「大ベテランの主婦の皆さんも今日は生徒です」

チェンソー技能 刈払機技術講習会開催

会員の技術向上・安全就業を目的として、二月二十四日(金)にチェンソー講習会が、三月十三日(火)には、草刈講習会がシルバーワークプラザにて開催されました。

今年度からの「安全就業注意警告方式」の導入にともないチェンソー・刈払機を用い就業する方には、講習会は必修となりました。

講師は両日ともに、富山県西部森林組合の森田所長にご教授頂きました。

午前の部は正しい使用方法・作業の安全ポイント・災害事例・機具の知識と取扱いについて学びました。午後の部では各自の機械を使用し実技を行いました。

昨年度は、刈払機による飛石の事故こそ減少しましたが、重篤事故になりかねないような傷害事故事例もあり、講習会で学んだことを今後の就業に生かしていただき、安全に作業していただくことをお願いしました。



「講師先生の実演に真剣なまなざし」

職員異動のお知らせ

- ◇新任 庄川支所長 上野 厚正 (四月一日付)
 - ◇退職 庄川支所長 大井 幹男 (三月三十一日付)
- 皆さま、本年度も新しい事務局をどうぞよろしくお願い致します。

◎配分金支払い日案内◎

- 五月十五日(火) 八月十五日(水)
- 六月十五日(金) 九月十八日(火)
- 七月十七日(火) 十月十五日(月)

雑感

シルバー人材センターにお世話になって四年が過ぎました。最初は社団法人という組織の考え方に苦しみ、シルバーで言う「請負」と民間で言う「請負」の微妙な違いに戸惑いました。そしてルーチンワークをこなすのに忙しい日々を過ごし、それがかえって自分の体調維持管理に良かったのかなと思います。

当センターで屋外作業の主力は七十歳代の方々です。暑い日、寒い日、雨の日でも除草、剪定、雪吊等に頑張っておられます。はたして自分がその歳になった時、先輩諸氏のように健康で元気に働けるのだろうかと思ふと元気に就業されている方々を尊敬いたします。

今後、公益社団法人となりセンターから会員の皆さんへの配慮が縮小するかもしれませんが、会員同士の相性が悪いから仕事に出ないと言わず、皆で明るく元気に仲良く就業される事を切に望みます。

(大井)